

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている			
	やや良く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・3月は、商店街で多くのイベントが行われたため、飲食を中心に売上がかなり増加した。春物の入学シーズン商品の動きも好調であり、かなり明るい兆しが見えている。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・飲食店の販売量の動きが良い。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	販売量の動き	・景気回復の影響で、企業が大規模な人事異動を復活させたため、今月は送別会が多く、料飲店向けの販売量は前年比を上回る。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・来客数は増加傾向にあり、また、中心の商店街も人の流れが少し増加している。
		スーパー（店長）	単価の動き	・客単価が、前年比0.1%上回る。また、当店で販売している灯油は昨年より高騰しているが、販売数は昨年と変わらない。
		スーパー（予算担当）	競争相手の様子	・流通業では、売上は底の状況を脱し、既存店の売上高の前年比が100%を超えている企業も見受けられる。加えて、健康などの自分の志向に合えばお金を使うという風潮も出てきている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・当年より新型車が3車種投入されたことや当社の決算月でもあることから、販売量に活発な動きがある。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・単価は上がっていないが、宿泊人員、地元の宴会、昼食休憩など若干増加している。高い料金の物はなかなか売れない状況であるが、客は消費をしようという気持ちになってきている。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・春の行楽シーズンを迎え、客の動きは活発になってきている。春休みを利用しての国内旅行、大型連休を利用しての海外旅行などは来客数、成約も多く売上も順調である。今年の連休は日の並びが良く、ヨーロッパ、アメリカなど遠隔地の希望も多い。3月は入学準備など人の動きも活発で、東京への航空券の売上が順調である。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・来客数も増加しており、商品単価も若干上昇している。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・住宅ローンの金利が上昇し、今後景気が良くなると予測されることから、今まで投機用の購入を控えていた客が、徐々に動きは始めている。
		その他住宅〔不動産〕（経営者）	競争相手の様子	・土地の価格は下落しているが、契約件数が少しずつ増加傾向にある。
	変わらない		一般小売店〔生花〕（経営者）	単価の動き
		一般小売店〔書籍〕（営業担当）	お客様の様子	・衝動買いやまとめ買いが少なく、必要な物だけを買うを求める客が多い。そのため、客単価も低くなっている。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・身の回りの生活必需品に関して、消費が活発になっているという印象は受けない。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・卒業式、入学式などに向けた、通常の5割増しの販促活動を行っているが、客の反応は鈍く、主力のスーツの動きも例年より低調であり、全体の売上も例年並みである。
		家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・テレビの販売数は昨年好調であったが、今年は20%低下している。冷蔵庫、レンジなどの商品は10%ほど上昇したものの、全体的に販売数が減少している。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・高額商品は売れず、限定車ばかりが売れている状況である。
		その他専門店〔CD〕（店員）	お客様の様子	・相変わらず財布のひもが固く、余計なものは購入しない傾向が定着しているため、プラスの売上が少ない。
		一般レストラン（経営者）	単価の動き	・中心部の人口の減少、昼と夜の人口の格差、オフィスピルの郊外移転により客単価も減少している。

		設計事務所（職員）	競争相手の様子	・営業活動において、競争相手に特に目立った動きはなく、当方も含めて平常営業が継続している。ただし、単価低下の方向は依然変わらないため、生産性の低下は恒常化している。
	やや悪くなっている	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・例年3月は春物の動きが良くなる月であるが、今月は気温が低かったため、春物の動きが悪く、来客数も減少しており、売上も良くない。
	悪くなっている	タクシー運転手	単価の動き	・毎年20日以降歓送会があるが、今年は自粛気味である。また、昼間、病院の通院など、病院がチャーターした送迎用の車両で移動するため、タクシーの利用度が低下している。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	繊維工業（経営者）	取引先の様子	・百貨店の店頭売行きが持ち直している。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・県外や海外からの、大きなプラントの仕事の引き合いがあり、受注に至った。
		通信業（営業担当）	それ以外	・幅広い業種の経営者との会話の中で、新規設備投資、店舗拡大、新サービスへの展開など、明るい話題を聞く事が多い。
		通信業（支店長）	受注量や販売量の動き	・新商品の投入により、予想以上に市場が活性化している。
		公認会計士	取引先の様子	・客の3か月前の決算書と比較すると、業種的にばらつきはあるものの、平均して3%から4%程度、売上、利益ともに改善されている。
	変わらない	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・大型クレーンの稼働率は相変わらず高く推移している。また、高所作業車もレンタル、電力電気、通信部門ともに稼働は順調である。
		輸送業（役員）	受注量や販売量の動き	・四国内の貨物の荷動きは、前年並みで動いている。
	やや悪くなっている	一般機械器具製造業（経理担当）	受注価格や販売価格の動き	・ユーザー側は低価格を要求し、メーカー側は資材高騰のため価格を下げられない状況である。
	悪くなっている	木材木製品製造業（経営者）	競争相手の様子	・受注量・販売量・得意先の様子・受注価格の様子は3か月前と比べて悪くなっている。
建設業（総務担当）		受注量や販売量の動き	・手持ちの受注残高が、前年同期比、半分以下に落ち込んでおり、初めての状況である。	
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（支店長）	採用者数の動き	・企業の採用が非常に活発になっており、正社員雇用の動きが強くなっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は、パート、派遣、請負、臨時求人の増加により、前年同月と比べて7か月連続で増加している。
		民間職業紹介機関（所長）	採用者数の動き	・情報関連、サービス関連業種を中心に、求人数が昨年度を上回っている。職種的には技術職、販売職については良い人材であれば大量に採用したいという企業も多い。
	変わらない	求人情報誌製作会社（従業員）	求職者数の動き	・3月は求職者数、求人数とも伸びてくるが、今年例年になく求職者数が少なく、求人数はあっても採用が決まらないため、求人広告が減少する。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・県外からの進出小売業は好調である。3月の広告出稿料は期末ということもあり、ますますであったが、地元企業の退潮感は激しい。
	やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・人材採用のための予算を渋る傾向が強くなっている。「いい人材は欲しいが、お金は掛けたくない」というコストよりの意識が総じて強い。
	悪くなっている	-	-	-